

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第 35 号

発行 2018 年 11 月 20 日

発行人 中村 晃

唐船峡そうめん流し

山 中 俊 一

今年の夏は鹿児島も猛暑でしたが、それを吹き飛ばすため、唐船峡の「そうめん流し」に行ってきました。ここでは「流しそうめん」ではなく、「そうめん流し」なのです。

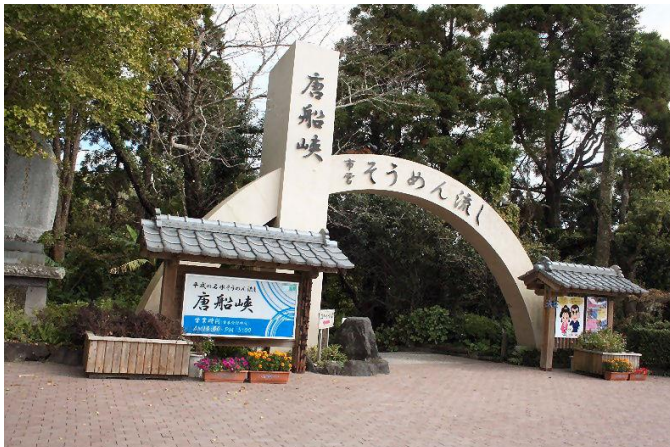
そうめん流しは子供にも大人気。唐船峡は開聞岳と池田湖の中間に位置し、「トーセンキョー」という言葉は、鹿児島県民なら子供でも皆知っています。

「そうめん流し」とは、ドーナツ型のそうめん流し器に水とそうめんを入れ、水流によってそうめんを流す方法です。

昭和 37 年に湧き水（日産 10 万トン、水温 16 度）を利用して「流しそうめん」を始めたのが創業のきっかけで、その後「回転式そうめん流し器」を開発し、導入したことで人気に火がつけました。湧き水は平成名水 100 選に認定されています。

「そうめん流し」のほか、マスの塩焼き、鯉コク、鯉のアライ等自然豊かな味わいも堪能できます。

夏の期間のみならず、年間を通して営業し、地元の方は勿論、遠方からも含め 20 万人が訪れます。以下、画面で紹介シモンソ。



近 況 報 告 （ 例会返信 ）

（ 欠 席 ）

渡辺和憲 夫婦共元気です。皇居勤労奉仕がようやく実現します。今上天皇ご退位前にと全国申込み殺到中。1月に50名の団員と共に勤めさせていただきます。

武田敏光 丁度、九州支部に入会して10年の節目になります。今後は高砂支部に専念したいと思っています。皆様には大変お世話になりました。

王寺定雄 残念ながら、まだ復調しておりませんので欠席させていただきます。

池田広治 今年の冬は寒かったので太陽熱利用の全館24時間床暖房の家の受注が好調です。生涯現役を楽しんでいます。

小林憲二 5月末に顔の左側を帯状疱疹で9日間入院し4ヶ月経ちましたが神経痛となり痛みと腫れで悪戦苦闘しています。特に直射日光が駄目なため、好きな庭いじりも出来ずにいます。

薬師寺是文 9月末に大分在住の姉が亡くなり葬儀で帰郷し、10月に49日で再度津久見に帰る予定です。参加できず、申し訳ありません。

園 博 7月に契約更新を終え、速いもので4年目に突入。飽食の時代で食品原料素材の販売は厳しくなるばかりですが、経験・付き合いを活かして最低あと2年は現役続行。

坂元 均 元気です。田舎のあまり値打ちのない所有者不明土地の整理(相続登記)をしています。あき家対策も考えなければなりません。台風で何処かに飛んで行ってくれば良いのですが、最近の台風は当地を避けてくれているので一。

上野賢二 地域のイベントのお手伝いで今回も参加できず申し訳ありません。

成相定雄 今夏は地震、台風、豪雨、猛暑と自然が大暴れしましたが、我が家は猛暑以外特に被害はなかったのですが、猛暑だけはじんわり老体をいじめました。エアコンをフル稼働してジットしていましたが、雑草はぼうぼう、植木は次々と枯れました。

山中俊一 脊椎管狭窄症の治療の為、参加できません。

岩出 進 地域の方々と楽しく健康維持に努め、妻の両親の介護の日々を過ごしています。

永井辰夫 職場のメンバーが入れ替わり、勤務変更がやりづらくなりました。今年の台風は鹿児島を避けているみたいで、コメは沢山取れそうです。「せごどん」効果でしょうか？

（ 出 席 ）

原 哲郎 春先に痛めた左肩がやっと治り、今回のゴルフに参加出来そうです。皆様に1年振りにお会い出来るのを楽しみにしております。

石原晋一郎 猛暑、台風、水害、そして地震と日本列島は休む暇もない状況ですが、みなさまはお変わりない毎日とお慶び申し上げます。小生は病院通いの毎日ですが何とか健康に過ごしております。今回は最後の例会出席になるかも知れませんが楽しみにしています。

西村和夫 今年の夏は暑すぎて魚釣りに行けませんでした。

竹内久善 週5回、筑後広域公園プールで水泳を始め、その効果で肩こりが解消し、日々元気に過ごしています。

檜崎賢治 年相応に、ぼちぼち生活しています。

市木 丞 平々凡々 閑雲野鶴 悠々自適 元気に過ごしています。

阪本正志 1日、1万歩を目標にウォーキングしています。

橋本 滋 毎日が日曜日。スケジュールのない日々を何とか無事に過ごしています。

上野與志隆 右眼見え、趣味の読書、ゴルフがまゝならない。日常の一部が家内の運転手とお宮の祭りの準備に割かれる。等々兎に角、この世は我儘ならず。元気、元気が取柄。

真部邦明 災害に会うこともなく暮らしています。腰を痛めて静養していますが、2〜3日で治りそうです。皆様とご一緒する日を楽しみにしています。

廣政 誠 半年以上になりますが、飛距離アップに悪戦苦闘中。ギブアップを考えましたが、ゴルフ仲間の少し飛ぶようになったとの言葉に乗せられてもう少し我慢をすることにしました。

中村 晃 マスコミの偏向報道、国家観亡き政界、官界、財界、労働界に血圧が上がり気味です。

平成 30 年支部例会報告 市木 丞



平成 30 年度鐘華会九州支部例会を 11 月 6 日（火）7 日（水）両日で開催した。福岡市と北九州市のほぼ中間地点に位置する宗像市。秋色に深まる田園風景の中の JR 東郷駅に出席予定者 12 名が元気に集合し、車 3 台に分乗し一路「宗像大社」へ。

宗像大社（総社）は三宮「辺津宮」「沖津宮」「中津宮」の祭祀や社務を執り行う中核的な役割を担う社となっている。

祭祀を担った宗像一族の古墳群や「神宿る島・沖ノ島」等を包含した関連遺産群として昨年 7 月に世界文化遺産に登録された由緒深き大社。

出席者全員が本殿（拝殿）に上がり思い思いの願いを込めて静かにこうべを垂れた。森閑とした広大な境内には、国宝 8 万点を収蔵する「神宝館」がある。「神宿る島・沖ノ島」を中心に、大社に長年伝承されてきた重要文化財などが収蔵、展示されている。権宮司の懇切丁寧な説明を受け古（いにしえ）に思いを馳せ楽しく鑑賞することが出来た。

更に、車で移動すること 10 分程度で、近在に「ボケ封じ」寺としてはつとに有名な霊験あらたな鎮国寺に参拝し、例会会場へと向かった。

例会会場は「大和ロイヤルホテル宗像」。玄海国定公園で風光明媚な所。出席者 12 名が揃った所で、例会および懇親会を開催した。

原会長から「カネカの現況」「新規加入者の減少」「長寿社会」「マイクロチップ」など、出席者はカネカの現況を聞く・知る機会は少なく、大いに参考になった。

中村支部長から支部活動の概要が報告された。

懇親会は遠来より参加の石原さんによる乾杯の音頭で幕開けとなり、海鮮料理を堪能した。それぞれに出席者同士で近況等を語り合い和やか賑やかにと盛り上がりました。中締めは檜崎さんの「博多一本締め」で散会となりました。

平成 30 年秋期コンペ報告 上野 與志隆

1. 開催日時：平成 30 年 11 月 7 日（水）
2. 場 所：若松ゴルフ倶楽部
3. 成 績：HDCP 方式

順位	氏 名	成績	順位	氏 名	成績
優勝	原 哲郎	75	5	坂本正志	83
2	上野與志隆	78	6	竹内久善	90
3	廣政 誠	81	7	橋本 滋	91
4	真部邦則	81			

{ 講 評 }

若松ゴルフ倶楽部は玄界灘を臨み名門コース。今回は宗像大社参りの御縁でコンペを設定。原会長をお迎えして総勢 7 名、青空の下での楽しいコンペとなった。

① 1 組目は若手組 4 人で、流石に飛距離を出す選手ばかり。特に肩を痛めていた原選手は今年 2 回目のゴルフにも拘らず、力むことなく、パーオンしなければ寄せワンパーやボギーを重ね、オキシトシンがたっぷり出て楽しいゴルフであったとのこと。見事優勝。今年 100 回目のプレイをこの山九会で迎え、緊張のスタートであった真部選手はスタート 2 ホールで +6 と大たたき、それでも以降まとめてダブルペリア(参考)では優勝。坂本選手は途中まで順調で、性にあったコースでハーフ 50 を切るなど思っていたそうだが、シャンクしたボールが木に当たって OB にならなかったのが間違い。急にペースを壊し、終わってみれば 100 越えを叩いていた。久し振りの竹内選手ティショットは完璧。しかし 2 打以降には練習不足の罰が出る。ドッグレッグコースを木越えのアプローチで OB と、墓穴を掘っていたようだ。心の修練が必要だが反省の色なし。

② 2 組目は喜寿を済ませた後期高齢者。新しいフォーム作りの廣政選手ティショットは安定し、新たなゴルフ世界を開眼したようだ。アイアンから変えたユーティリティが今一つと反省しきり。地元の上野選手は未だコースを知り尽くしていない様子。ドライバーは安定していないが、アプローチやバンカーショットで時々ベタピンがあり救われた。橋本選手スタートはパー、2 ホール以降も上々で本人も不思議顔でラウンドしていたが、ショート池ポチャ以降、後半は年齢からくる本来の実力が出て終われば 100 を遥かに超えた。本人評、天気は良くコースも良くゴルフを楽しんだ。練習で疲れたとのこと。

「天気も良く、コースは相性良くゴルフを楽しんでオキシトシンが充分出た」という総括である。

【平成30年度支部活動報告】

◇実施した事項

年	月	日	活 動 内 容
30	01	24	(全体役員会)
	02	01	(鐘華 78 号)
	02	14	支部幹事会 (黒崎)
	05	09	石村萬盛堂工場見学・懇親会 (11 名)
	06	10	第 19 回山九会 G・太宰府 GC (5 名)
	06	20	支部だより 34 号発行
	06	25	支部幹事会 (福岡)
	08	01	(鐘華 79 号)
	08	01	(全体役員会)
	11	06	第 18 回例会・福岡県宗像市 (12 名)
	11	07	第 20 回山九会 G・若松 GC (7 名)
	11	20	支部だより 35 号発行

(特記事項)

- ・工場見学&懇親会、第 19 回山九会ゴルフは「支部だより」34 号及び鐘華ニュース 79 号に掲載
- ・例会及び第 20 回山九会ゴルフは支部だより 35 号及び鐘華ニュース 80 号に掲載予定

(会員移動)

- ・なし

【30 年度支部活動費半期実績】

項 目	29 年実績	30 年予算	半期実績
支部だより関連	14,834	15,000	6,623
春の行事関連	3,661	4,000	5,090
例会写真代等	1,000	1,000	0
例会関連	4,222	6,000	0
交通費一部負担	4,000	4,000	4,000
その他	130		
合 計	27,847	30,000	15,713

(特記事項)

- ・特になし

【カネカ 中間決算 (9 月) 概要】

単位: 億円

	2017.09	2018.09	増減 (%)
売上高	2,923	3,061	4.7
営業利益	159	180	13.5
経常利益	145	156	10.0
純利益	96	107	11.1

- ・売上高は、上半期としては過去最高を更新
- ・営業利益、経常利益、純利益いずれも 2 桁の増益
- ・生産能力増強を進めた重点注力事業群がグローバルに拡大し、成長を牽引
- ・営業利益は、地震や台風等の自然災害による一時的な影響を受けたが、重点的に注力して強化に取り組んでいる事業群が順調に推移。

<業績予想>

- ・世界経済は、米中の貿易摩擦、米国利上げの影響等、先行き不透明感が高まり世界貿易縮小の懸念も高まっている。IMF が本年 10 月に 2 年振りに世界経済見通しを引き下げる等、2008 年の金融危機後の景気拡大は局面転換のリスク
- ・このような経営環境の中で、当社は R&D やグローバル展開を更に強化し、足腰の強い新しいポートフォリオ構造への変革を加速していく。
- ・上半期は自然災害や原料価格上昇など一時的な影響を受けたが、下期はモディファイヤー、変性シリコンポリマーなど海外拠点で生産能力を増強した事業群の新しい力を最大限に活かして事業を拡大し、グローバル競争力を強化
- ・更に、IoT、AI 社会の到来により需要が急拡大する E&I、新製品開発が進む Health Care や Supplemental Nutrition などの戦略的重点事業の拡大に取り組んでいく



あとがき

- ・鹿児島の中村俊一さんは、入会して最初の例会（指宿で開催）以降一度も顔を見せないのので、何か書くようお願いした。唐仙峡の「そうめん流し」は魅力的だが、チョット出掛けるには遠すぎる。
- ・上野さんのコネで、宗像大社では本殿でお祓いを受け、権宮司の丁寧な説明もあり古代のロマンに浸った。
- ・ゴルフは「天気も良く」「コースもよく」「オキシトシンがたっぷり出た」との事。
wikipedia によると「オキシトシン」とは「幸せホルモン」とか「愛情ホルモン」とも言われ、ストレスを緩和し、幸せな気分をもたらすそうである。出たのはオキシトシン？ 冷や汗では？
- ・8 月の全体役員会の議事録が届いていないので、カネカの中間決算の概要を掲載した。説明資料が横文字ばかりで、閉口した。本当に昔、自分が勤めていた会社なのか。今、現役だったら多分クビだろうな！！